

平成30年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	市政協同
議員名	我妻静夫・岡田健一・金濱元一・早川昇三・古澤孝市・南川達彦・黒光ひさ・鈴木和彦
調査実施年月日	平成30年7月31日
調査先 自治体名等	岩手県宮古市
調査項目	産業振興について
調査目的	産業振興補助金について
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口: 56, 676人 世帯数: 23, 387世帯(国勢調査) 行政面積: 1,259. 15km²</p> <p>2 視察内容 宮古市では、産業振興補助金について視察を行った。</p> <p>はじめに、概要・目的として宮古市では、本事業は平成22年3月議会において宮古市産業振興基金条例を決議し、基金総額1億円を原資として平成22～26年度(5年間)で各年概ね2,000万円程度を見込み、宮古市産業振興補助金と第一次産業担い手育成補助金に各々各年1,000万円を見込んでいたことであった。また、基金設置の目的としては、各産業が生産力の向上に取り組み、各産業相互の連携を強化し、地域資源の活用と人材・後継者の育成を図り、活力に満ちた産業都市づくりに資するとのことであった。</p> <p>宮古市産業振興補助金の内容については、市内の企業、事業者、生産者及び生産団体、NPO、任意団体、新規創業予定者等が、生産力の向上に取り組み、各産業相互の連携を強化し、地域資源の活用と人材・後継者の育成を図る事業を実施する場合に、事業にかかる経費のうち4/5を補助し、補助金上限を50万円とするものであった。また、平成30年度より対象事業の拡大として、補助金を受けた事業をさらに発展させる事業等は補助対象経費の1/2、限度額100万円とすることや、補助金限度額を50万円から100万円に増額し内容を見直したとのことであった。見直しを行なった背景としては、平成10年から22年までの事業所数が1,000程度から平成24年から半数程度となり、事業者からアンケート等により意見を集約し見直しに至ったとのことであった。</p> <p>その後、補助申請の要件、補助金の交付決定、補助金交付手続きと時期、審査内容、これまでの実績状況について説明を受けた。</p>
感想(まとめ) 本市へ生かせること 等	<p>宮古市産業振興補助金活用実績では、農業11件、漁業3件、林業1件、観光2件、工業(食品加工)17件で、各産業で活用されている状況であった。平成30年度の状況では観光の件数が増加しているとのこと、今後は工業(食品加工)、観光からの物流のつながりで産業の発展が期待されると感じた。また、補助金申請の要件に、農林水産物の加工は地元原材料を使用したものであること、農林水産物を使用した新製品を開発した場合は市主催の加工品コンクールに出品することとあり、事業実績から宮古のブランド化が実現できる取り組みであり、特に工業(食品加工)について事業の拡大が期待できると感じた。このような工業(食品加工)に力があることから、フェリーの就航を機に室蘭市との各産業のつながりと宮古市の食品加工力を利用した取り組み等に今後期待でき、本市で積極的に検討を進めるべきと思った。</p>